（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　メリーフィールド鶴ヶ峰			
○保護者評価実施期間	2025年12月15日	～	2026年　3月　15日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	22	（回答者数）	13
○従業者評価実施期間	2025年12月15日	～	2026年　2月　20日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　3月　16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供の「できる」を増やし、自律に繋がるようにする 遊びを通して、コミュニケーションスキル向上を目指す	お子様が自主的に行動出来るように取り組む課題の提供 苦手意識が強い活動も取り組めるように支援する	おもちゃは期間を決めて提供をする お子様にあった課題を提供する
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の配置 本部が基本配置以外の配置を認めていない	子供の特性に合わない職員を研修に送り出せない。 本部管轄の職員の理解研修が足らない。	働き方改革を推進し、働きやすい環境職場を整える
2			
3			

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	メリーフィールド鶴ヶ峰

公表日 2026年　3月　16日

利用児童数 22人　　回収数　13人

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	3	1			正直、利用者数によっては十分とは思えない時もありますが、確保に努めております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	5	1	2	送迎までして頂けて助かってます。	ご指摘ありがとうございます。最低基本配置数の為、職員の増員は日々努力しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	2		2		高評価ありがとうございます。日々評価に合うよう努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	3		2		いろいろなお子様が一つの空間なので満足できる空間をお届け出来るように努めます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1	1			高評価ありがとうございます。日々評価に合うよう努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	13					高評価ありがとうございます。日々評価に合うよう努めます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	1				高評価ありがとうございます。これからは余裕も少しできるようにし保護者様との交流に努めます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	2		2		どうしても、本人支援が中心になってしまいがちで、これからは移行支援も出来るように目標にしたいと存じます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					高評価ありがとうございます。更に計画に沿った支援を務めます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	2		2		固定化には十分気を配っていますが、特性の強いお子様には固定化も感じてしまうと思います。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	2	6		コロナ禍の影響で今は難しいです。公園遊びで交流が出来るように配慮しています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	1				課題になっていることもあり、きちんと説明が出来るように努めます。不明な点はどうぞご質問ください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					高評価ありがとうございます。これからも日々努めに励みます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	4	1	3		紙ベースでお知らせはしておりますが、教室内では開くことが出来ません。引き続き情報提供に努めます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13					お子様の状況は必ず良いことも悪いこともお伝え出来るように共有してまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13					面談時間が足らずにご迷惑をお掛けします。面談期間以外もお受けしますのでお声がけください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1				職員も日々研修を受け、支援に役立つように日々精進して参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	1	7		コロナ禍の影響で難しくなっていますが、年に2回は保護者様が参加できるイベントを準備しているので是非ご参加ください。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1		1		目の行き届かない箇所を多くご迷惑をおかけしていると思いますが、対応は迅速に行うように努めます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					高評価ありがとうございます。引き続き精進して参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	2		1		引き続きニーズにあった情報提供も出来るように努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1	1	1		個人情報の取り扱いには、留意出来ていない箇所もたたあると思われますが、職員一同努力しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	4		3		マニュアルの提示に関して今は書庫に保管しています。マニュアルに沿った対応が取れるよう職員も研修しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	4		5		避難訓練は定期的に行っております。また年に1度は防災センターや地域の活動にも参加するよう心掛けています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	8	3	1	1		まだまだ目の行き届かない箇所があり、職員の増員は日々努力しております。ご心配おかけしすみません。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1	1	2		まだまだ目の行き届かない箇所があり、職員の増員は日々努力しております。ご心配おかけしすみません。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	1		1	子ども本人から楽しいと言っています。	高評価ありがとうございます。これからも日々努め励みます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7	3	1	2	子ども本人から楽しいと言っています。	お子様にとっては楽しい場所と言えないかもしれませんが、自律出来るように努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1				高評価ありがとうございます。これからも早期療育に努め、お子様の楽しい日々が送れるよう努めます。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	メリーフィールド鶴ヶ峰

公表日　2026年　3月　16日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		8		当日の利用人数で変化する
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		8		会社の雇用が基本配置しかない
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8			利用者に併せて、空間を整えるように努力している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		空間は職員全員で気を付けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		8	子供用の別部屋の用意がない。テントなのでクールダウンの場所は確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	5		基本配置職員しかいなく毎回同じ職員
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			不定期だが、都度意向があった場合は改善し職員で共有している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			意見は都度機会を設けており、業務改善を行う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		利用していない。提案研修にも行けない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		8		法人内での研修は毎回参加できるが、外部研修は講習に行きたくても職員が足らずいけない。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			本部が担当しているのでできていると思う。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		保護者からのアセスメントに基づき、職員間でも共有している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		毎回ではないが、定期的に期間を設けて少ない職員でも行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6	2	大まかなな支援を決め職員間で共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	5	会社全体として、共有すべきものもない。職員同士で保護者とのやりとりで確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		8		本人支援が中心になっていて、職員も足らないし、移行支援や地域支援まで手がまわらない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		児童指導員を中心に立案している。	

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	2	プログラム自体は固定化しているのではないか。だけど、やっていることは工夫が出来ている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	2	集団に参加できない子が必ずいるが、パニックを起こさないように支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			連絡事項の伝達も含め必ず行っているが、チームで連携するほど職員がいない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。		8	終了時間に全員揃っていないので、翌日のミーティングで行う。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		8		記録はつけるように職員に徹底しているが、日報に記録する暇がない。支援の改善は日々、話をしながら検証している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		8		職員間では不定期に行っている。本来は定期的に行うべきと認識しているが、そこまで回らない。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	2		出来ていると思うが、職員全員での検証する時間がない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		職員間でも話をするが、出来ている方だと思う。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	5		基本管理者が参加出来るように配慮しているが、子供の支援時間が多く参画できない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		その都度、連携支援は体制を整えるように配慮している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		8	実際、学校の情報共有する時間が出来ず、1割程度の担任とは出来ている。学校側が放デイとのやり取りを保護者にするようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		8		保育所訪問はやっていない。療育センターとの情報共有だけ出来ている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		8		できていない。保護者からの情報提供がない為、今後の課題。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	8		療育センターとの連携は常に心掛け、必要に応じて研修に参加できるように依頼している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8	コロナ禍の影響でどこもやっていない。公園遊びの時は一緒に活動するように促している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		8		参画したくても、時間が合わない。それぞれの時間がまず合わない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		職員全員保護者の意見を共有できている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		8		外部研修の案内は盛んに行っている。事業所内では有料の研修に参加できない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		管理者が必要に応じて行っている。また職員も分かる範囲で行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	2		今はこども最善で優先にしている。時には保護者がすべき無理難題もある。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	8		基本同意を得てから支援を開始している。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	3	まだ経験が浅い、職員は行っていないが経験のある職員は管理者に変わって行う時もある。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		8		コロナ禍の影響でやっていない。また交流でもめたこともあり。参加者がいない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			職員全員に周知し、迅速に動いているが、保護者側の無理難題が増えている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		定期的なお便り、子供の活動写真を必ずやっている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	4		基本的には留意しているが、保護者がほぼこどもたちの名前を知っているので、どうしても名前はでてしまう。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			事前に保護者から伺っている時もあるので、職員間で共有している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		開所前はやったこともあるようだが、コロナ禍の影響で招待はしていない。来所の際は案内している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	マニュアルは周知しているが、参加できない職員もおり、訓練自体は行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	必要に応じて訓練は行い、地域の訓練も参加している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		最近増えてきたので、必ず半年に1回行うようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		今のところ、医師の指示書が必要なこどもはいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			支援は行われているが、時間が足らず外部研修は正直難しい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	8		特にLINEで情報提供が全員出来るように周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			口頭での情報交換は常に行っているが、職員も記録する時間がない。再発防止策は常に行っている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			内部研修は日々行っているが、外部研修は時間が合わず参加が難しく困っている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		掲載はしている。保護者にも常に危険性を感じたら行う了解は得ている。	